

# 救護施設千里寮における 新型コロナウイルス感染症の 感染予防対策について



社会福祉法人 みなと寮  
救護施設 千里寮  
大野 妙子

・当施設の実践を下記のとおり報告させていただきます。

1. 救護施設千里寮の概要
2. 千里寮における感染予防対策の全体像
3. 入所時・退院時の感染予防対策について
4. 新型コロナウイルス感染症発生時における  
業務継続計画（BCP）について
5. 事例報告 感染予防対策を考慮した行事について
6. 最後に（総括）



# 1. 千里寮の概要

①定員（令和4年7月31日現在）

150名（成人男性） 現員152名



②平均年齢

60.2歳

最高齢：91歳、最年少：20歳

③平均在寮期間

3年11ヵ月

④主たる障がい区分

精神疾患：31.5%

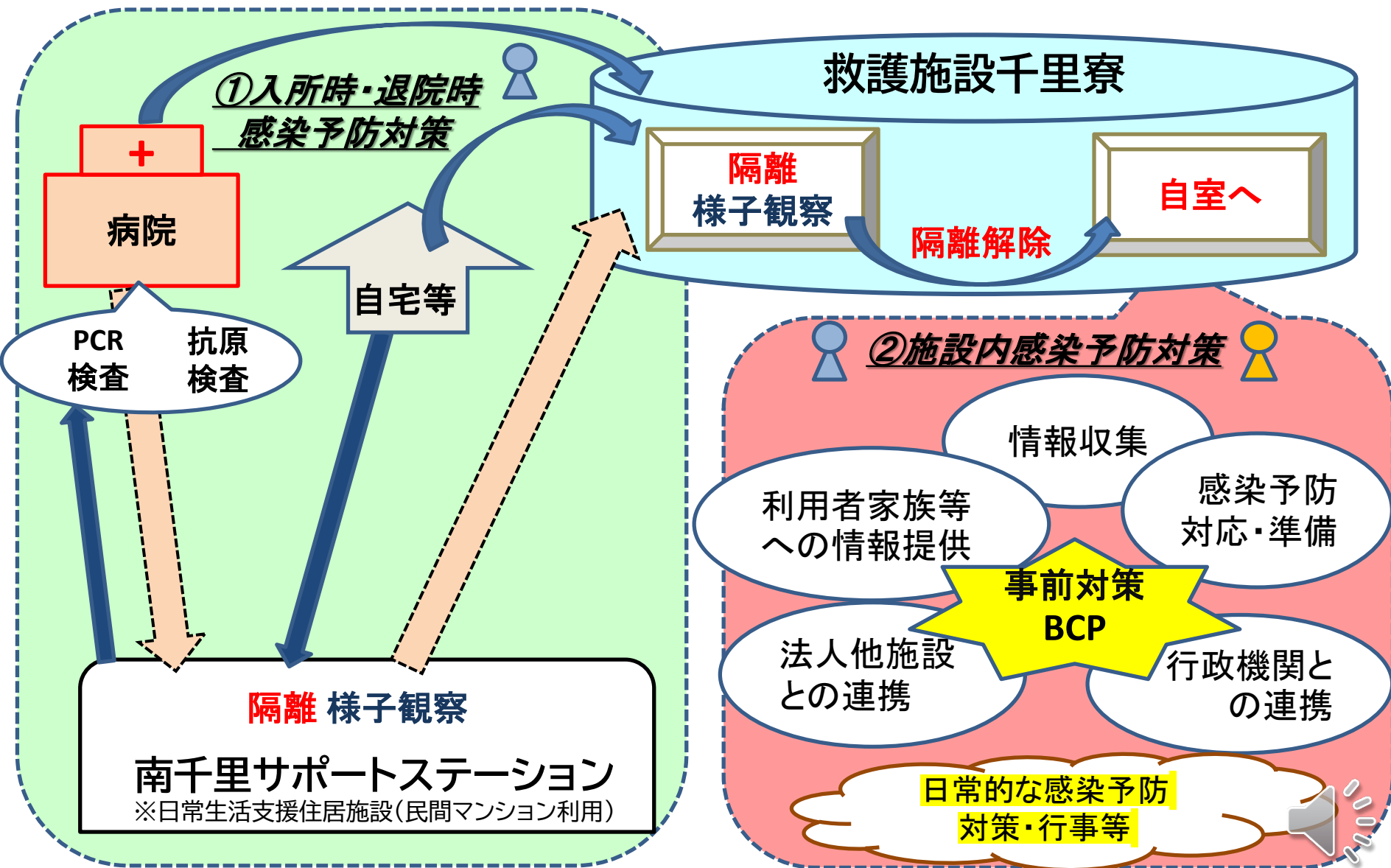
知的：4.6%

身体障がい：9.2%

その他：54.7%



## 2. 千里寮における感染予防対策 全体像



# 感染予防対策の全体像 説明

## ①入所時・退院時における感染予防対策

⇒病院や自宅等、外部から施設へ利用者を受け入れる際の感染予防対策です。詳細は「3.入所時・退院時の感染予防対策について」にてご説明いたします。

## ②施設内感染予防対策

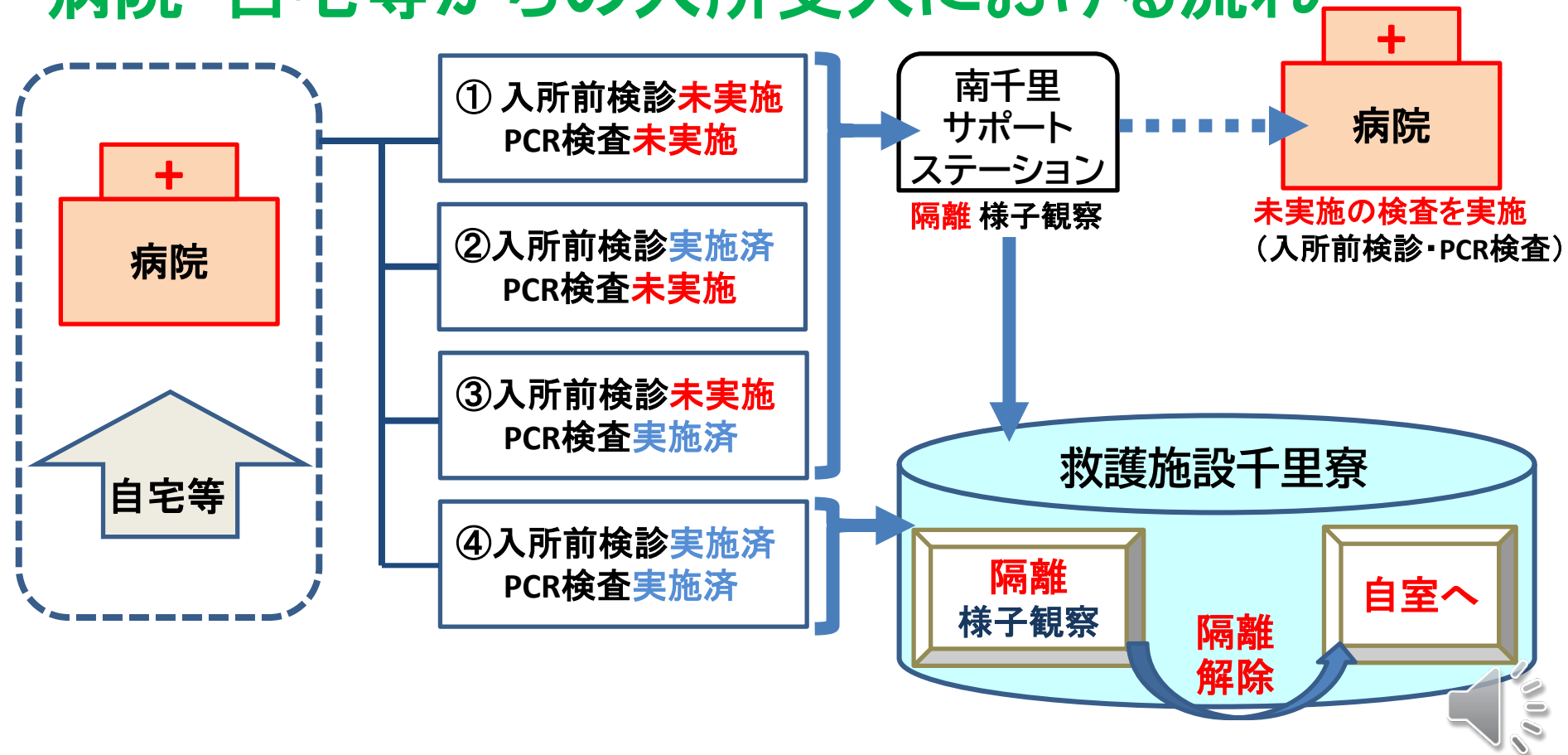
⇒施設内における感染予防と事前対策に関する業務継続計画(BCP)、感染予防対策に配慮した日常的な業務や行事等の取り組みです。詳細は「4.新型コロナウイルス感染症発生時における業務継続計画(BCP)について」「5.事例報告」にてご説明いたします。



# 3. 入所時・退院時の感染予防対策について

## (1) 入所時

### 病院・自宅等からの入所受入における流れ



## 病院・自宅等からの入所受入における流れ 説明(1)

- ① 入所前検診未実施・PCR検査未実施の場合は、南千里サポートステーション(以降、南千里S)にて隔離対応を行います。その後、検診・PCRを実施し、問題なければ、施設にて24時間隔離対応を行います。
- ② 入所前検診実施済・PCR検査未実施の場合は、南千里Sにて隔離対応を行います。その後、PCRを実施し、問題なければ、施設にて24時間隔離対応を行います。



## 病院・自宅等からの入所受入における流れ 説明(2)

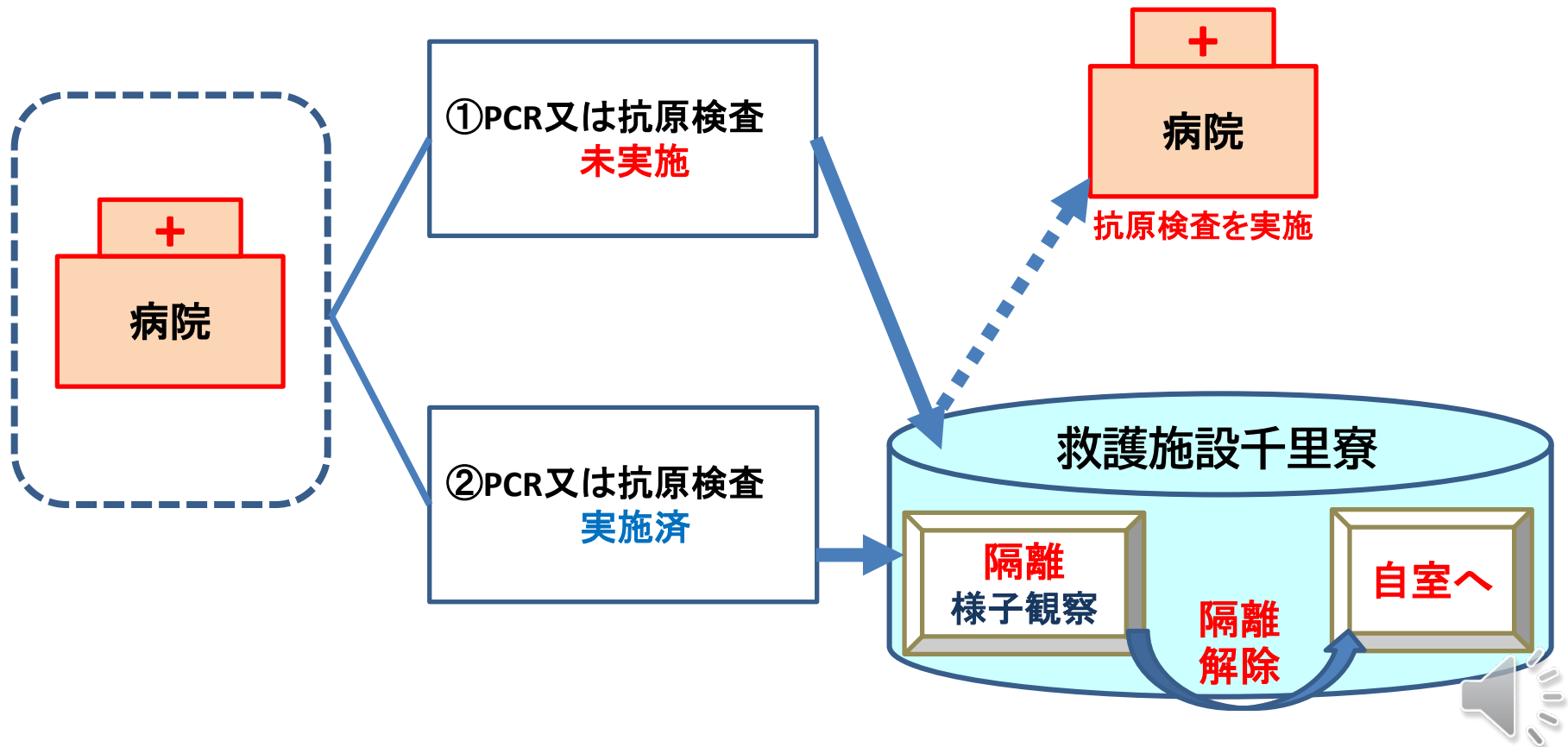
- ③ 入所前検診未実施・PCR検査実施済の場合は、  
南千里Sにて隔離対応を行います。  
その後、検診を実施し、問題なければ、  
施設にて24時間隔離対応を行います。
- ④ 入所前検診実施済・PCR検査実施済の場合は、  
施設にて24時間隔離対応を行います。

※南千里Sの利用が難しい方は、施設での隔離を検討します。



## (2) 退院時

### 病院からの退院受入における流れ



## 病院からの退院受入における流れ 説明

- ① 退院時、PCR検査または抗原検査を未実施の場合は、施設内にて隔離対応を行い、病院へ抗原検査を依頼します。検査を実施後、結果が陰性と確認でき次第、隔離を解除し、自身の居室へ帰室していただきます。
- ② 退院時、PCR検査または抗原検査を実施済の場合は、施設内にて隔離対応を行います。様子観察を行い、24時間後に検温実施。異常なければ隔離を解除し、自身の居室へ帰室していただきます。



## 4. 新型コロナウイルス感染症発生時における業務継続計画（BCP）について

### (1) 目的

本計画は、職員に陽性者等が発生した際の人手不足に備え、他施設等からの応援職員を円滑に受け入れるための業務体制などについて、当施設の実施すべき事前対策、感染防止対策ならびに業務の継続・縮小・休止に関する行動基準・実施事項等を定めています。



## (2) 基本方針

- **利用者の安全確保**: 利用者は一般人に比べ相対的に体力が弱いことに留意して感染防止に努めます。
- **サービスの継続**: 利用者の健康・身体・生命を守る基本機能を維持するように業務に優先度をつけ分類します。
- **職員の安全確保**: 業務の特性上、職員は一般企業と比べ感染リスクが高いことに十分留意して感染防止対策を講じます。また、職員が安全に業務にあたることができるよう、就業環境の整備に努めます。



# (3) 発生段階とステージ分類

発生段階		ステージ
未発生期	新型コロナウイルスが発生していない状態	ステージ0
海外発生期	海外で新型コロナウイルスが発生した状態	ステージ1
国内発生早期	地域未発生期	ステージ2
	地域発生早期	
国内感染期	地域感染期	ステージ3
	小康期	患者の発生が減少し、低い水準でとどまっている状態



## (4) 業務分類

業務	内容	当施設における業務
A	通常時と同様に継続すべき業務	食事、排泄、与薬、医療的ケア、記録
B	感染予防・感染拡大防止の観点から新たに発生する業務	利用者家族等への各種情報提供、空間的分離のための部屋割り変更、施設内の消毒・喚起、感染物の処理、来所者の体温測定、特定接種・集団接種対応等
C	規模・頻度を減らすことが可能な業務	外出、入浴 (日課、地域の総合相談事業等)
D	休止・延期できる業務	上記以外の業務 (出張・研修・行事・外出等)



## (5) 段階に応じた対応と職員への周知

- 各発生段階及びステージに応じ
  - 対応主体(誰が: 役割・担当者・代行者)
  - 対応事項(何をするか)等の詳細を定めています。

- 計画に準じた対応を実践できるよう、全職員に向け、定期的な研修等を通して、感染予防対策と業務継続計画について、周知徹底に努めております。



## 5. 事例報告

### 感染予防対策を考慮した行事について

施設内において、感染予防対策をふまえ実施した夏祭りについてご報告いたします。

場所：救護施設 千里寮内 食堂ホール

参加者：全利用者

実施時期：2021年8月12日

概要：千里寮において毎年開催している夏祭りについて、新型コロナウイルス感染拡大を受け、感染予防対策を講じながら実施した事例です。



# (1) 当時の新型コロナウイルス感染拡大状況

2021年8月12日時点

- 当日新規感染者数：1654人(前日1490人)
- 大阪府内感染者数：累計12万7294人
- 死者数：当日4人、累計2739人

⇒ 第5波の中、全国的に感染力の強い変異ウイルス「デルタ株」の広がりの影響で、大阪は8/2より緊急事態宣言の対象地域に。新規感染者数、入院者数、重症者数が急速に増加し、更なる感染拡大が続くことが予測される状況にありました。



## (2) 準備

### <感染予防対策>

- 規模縮小し、場所を大ホールから食堂ホールへ変更。
- 接触機会が多い遊戯類(射的等)は中止としました。
- 密接・密集を避ける為、人数を制限し分かれて喫食してもらいました。
- 手指消毒の実施。
- 食事時以外のマスク着用の確認・声掛け。
- 食品提供時のフェイスシールド・手袋着用。
- テーブルへのアクリル板の設置。
- 密閉した空間にならないよう食堂の常時換気。



# (3) 当日の様子



アクリル板



マスク着用

フェイスシールド



手袋

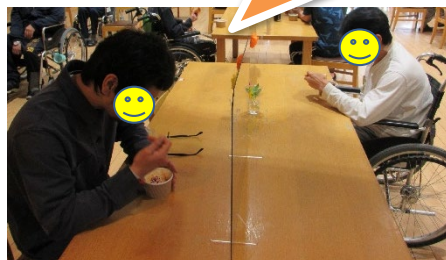


消毒液

常時換気



密接・密集を避ける



ソフトクリームを提供しました。



## (4) 振り返り

### 【良かった点】

- 多くの利用者が、手指消毒やマスク着用等に協力的に参加してくださいました。
- 感染予防のため行動に制限がある中で、参加者より「美味しかった」「楽しめた」といった声を聞くことができました。

### 【課題点】

- 喫食中にマスク未着用でお話される方がおられた為、**感染対策に関する事前の具体的な情報提供や協力の呼びかけ**、当日のこまめな**様子確認**や**声掛け**等の重要性を再認識しました。



## 6. 最後に（総括）

◎施設での感染予防は、日常的な対策と、感染発生時を想定した事前準備が不可欠と考えます。

◎当施設では、入所時や退院時等といった外部からの受入れ時には可能な限りウィルスを施設内に持ち込まない対策を行い、事例にも見て頂けるように日常的な消毒・マスク着用・換気等により感染拡大を防ぐ対策を行っております。

◎今後も、万が一に備えた業務継続計画(BCP)による危機管理の重要性を踏まえながら、日々の業務に取り組んでいく所存です。



ご清聴  
ありがとうございました

